

読めば必ず **得** をする!!

究極の電話割引 サービス利用法

インターネットアクセス編 インターネットマガジン編集部・編

「テレホーダイ」や「タイムプラス」、さらに「東京電話」など、通話料金の割引サービスは数多く提供されている。どのサービスもそれぞれの割引率だけを見ると魅力的に見えるが、他のサービスとの比較をしてみないと本当に安くなるのかどうかわからない。この記事を読めば、自分がインターネットを利用する時間帯に合った割引サービスが見つかるはずだ!

もう3分10円では満足できない!

当然のことだが、ダイヤルアップ接続の場合には、プロバイダーの料金と電話料金（主にNTT）が必要になる。プロバイダーについては安いところを探すが、通話料については無関心という人は多いのではないだろうか？通話料について深く考えず、「まあ3分10円だし...」くらいしか考えていないのであれば、それは大きな間違いだ!

アクセスポイントまでの通話料は、NTTな

どが提供している各種の割引サービスを上手に利用することによって、確実に安くすることができる。「テレホーダイ」や「テレチョイス」といったサービス名を聞いたことのある人は多いだろうが、この種の割引サービスには、あらかじめ登録した電話番号への通話料を割り引くというものが多い。インターネットの場合は、アクセスポイントの電話番号が決まっているために同じ電話番号へのコール

が多くなるはず。つまり、こうした場合に割引サービスはもってこいというわけだ。

「毎月のNTTの料金請求が恐ろしい...」そんなダイヤルアップユーザーは、この記事を読んで通話のコストダウンの方法を考えよう。ヘビーユーザーばかりでなく、ライトユーザーにもコストダウンの方法はあるのだ。

なお、今回の記事では、インターネットを利用している人の多くがそうであるように、アクセスポイントは市内通話区域、もしくは市外隣接区域にあるものとして、各サービスの料金を算定している。

何も知らないアナタは 絶対損している!

毎月NTTから送られてくる明細書、その請求額に毎月溜め息をついている人も多いだろう。写真のNTT明細書は本誌編集部員のものだ。これを見ると、ISDN回線の通信料が19,730円となっている。これは一切の割引サービスを利用してない状態の料金だ。本人によると、アクセスポイントは市内通話区域で、彼の通信時間帯は会社から帰宅した後の深夜12時から早朝5時くらいの時間がほぼすべてであり、今後も早朝深夜の時間帯での利用がほとんどになるといふ。これをすべて深夜・早朝の利用として割引サービス(INSテレホーダイ)を使えば、なんと通信料は5,230円になった。その差14,500円、毎月これだけ節約すると1年で174,000円にもなってしまうのだ。このケースは極端かもしれないが、これだけ違うのなら「知らなければ損だ!」と言い切ってもいいのではないだろうか。

会社や学校といった一定のリズムの中で生活しているのなら、自分が通信を行う時間はある程度は決まった時間帯に集中するのではないだろうか。またそうでなくても、通話料を安くするために、通信を行う時間帯をコントロールすることはできるはずだ。

料金内訳名	金額(円)	税区分	ご利用期間等のお
基本使用料(基本料)(他電料)	2,830	合算	2月1日~2月28日
基本使用料	60	合算	2月1日~2月28日
番号案内料	90	合算	12月21日~1月20日
0700 固定・回線ご利用分	(90)		2回のご利用です。
INS通信料	19,730	合算	12月21日~1月20日
消費税(市税)	1,316		
0700 消費税(市税)(合算分)	(1,316)		合算分の料金を合計した26,330円に5%を乗じて算出
(合計)	27,646		

5,230円に!
最大で14,500円ダウン!

利用サービス
INSテレホーダイ(ホーム・市内プラン)

割引サービスはこんなにある!

サービス名	割引対象時間	定額料金/月	サービスの内容	申し込み	
テレジョーズ2000	平日22時~翌8時、土日祝日は一日中	1750円/月	定額料金で2000円分まで通話ができる。2000円分を超えて3000円分までの通話料金は15%割引になる	NTT: 0120-378160	
テレジョーズ3000		2600円/月	定額料金で3000円分まで通話ができる。3000円分を超えて5000円分までの通話料金は15%割引になる		
テレジョーズ5000		4300円/月	定額料金で5000円分まで通話ができる。5000円分を超えて8000円分までの通話料金は15%割引になる		
テレジョーズ8000		6850円/月	定額料金で8000円分まで通話ができる。8000円を超える通話料はすべて15%割引になる		
テレチョイス10	すべて	100円/月	選択した2つの市外局番への市外通話料金が10%割引になる		TTNet: 0120-719019 各カード会社(P303)
テレチョイス15	すべて	200円/月	選択した5つの市外局番への市外通話料金が15%割引になる		
テレホーダイ1800	23時~翌8時	1800円/月	選択した2つの市内電話番号への通話料が無料になる		
テレホーダイ3600	23時~翌8時	3600円/月	選択した2つの隣接する市外電話番号への通話料が無料になる 1		
テレワイズ10	すべて	550円/月	市外通話料金が10%割引になる		
テレワイズ15	すべて	1550円/月	市外通話料金が15%割引になる		
エアプラス	すべて	100円/月	隣接・20kmまでの通話が3分10円(早朝、深夜は4分10円)になる		
タイムプラス 2	すべて	200円/月	市内通話が5分10円(早朝、深夜は7分10円)になる		
東京電話 3	すべて	なし	市内通話が3分9円(早朝、深夜は2分5秒9円)、隣接区域へは3分14.4円(早朝、深夜は2分9円)になる		
クレジットカード割引	すべて	4	市外通話料金が利用金額に合せて16%から20%割引になる(割引率は各社で若干異なる)		
テレワイズ・ワイド13	すべて	1000円/月	市外通話料金の合計を13%割引	NTT: 0120-378160 各カード会社(P303)	
テレワイズ・ワイド17	すべて	3500円/月	市外通話料金の合計を17%割引		
テレワイズ・ワイド21	すべて	12000円/月	市外通話料金の合計を21%割引		
INSテレチョイス10	すべて	200円/月	選択した4か所の市外局番への市外通話料金を10%割引		
INSテレチョイス15	すべて	400円/月	選択した10か所の市外局番への市外通話料金を15%割引		
INSテレホーダイ(市内プラン) 5	23時~翌8時	2400円/月	選択した2つの市内電話番号への通話料金が無料になる		
INSテレホーダイ(隣接プラン) 5	23時~翌8時	4800円/月	選択した2つの隣接する市外電話番号への通話が無料になる 1		
クレジットカード割引	すべて	4	市外通話料金が利用金額に合せて16%から20%割引になる(割引率は各社で若干異なる)		

1: 選択する2つの番号のうち1つを市内電話番号にすることもできる

2: 98年2月現在のサービス対象地域は、首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、山梨)のみ

3: 対象地域は関東圏内(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県)

富士川以東、ただし、離島は除く)

4: サービス自体は無料だが、カード会社によってクレジットカードの基本料金がが必要な場合もある

5: INSテレホーダイは住宅用プランの料金

ここからは、それぞれの割引サービスの料金推移をグラフ化して比較してみよう。基本料金は住宅用のアナログ1,750円、ISDN2,830円とし、この基本料金に各サービス月額基本料金を加えている。なお、実際の電話料金は3分ごとや4分ごとにプラスされるが、グラフを見やすくするためにここでは直線で表示している。接続時間ごとに一番お得なサービスをタイプ別に示している。このグラフを見れば、自分の1か月の接続時間で一番お得なサービスがわかるはずだ。

1回の接続時間によって料金推移は異なるが、ここでは連続通話時間の料金推移を示している(たとえば、日中なら3分間の接続で10円だが、1分間の接続を3回繰り返したら30円になる)。また、「カード割引サービス」(303ページ参照)は、セゾンカードの割引率で計算した。

アナログ回線 市内通話料金

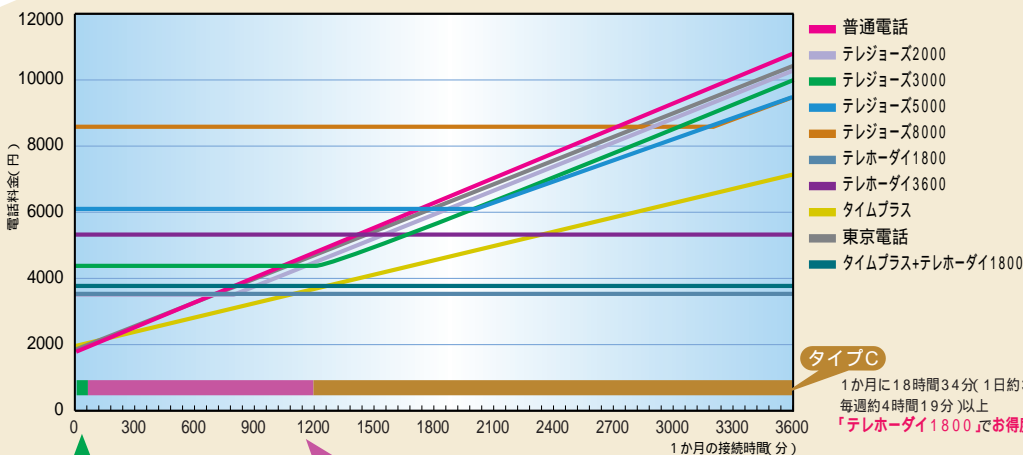
アクセスポイントが市内通話区域にある場合



MIDNIGHT

(午後11時～午前8時)

通常料金 10円/4分



タイプA

1か月に3時間27分
(1日約7分/毎週約50分)未満
「東京電話」で最大25円/月お得!

タイプB

1か月に3時間27分(1日約7分/毎週約50分)
～18時間34分(1日約37分/毎週約4時間19分)
「タイムプラス」で最大1,000円/月お得!

1か月の接続時間をチェック!

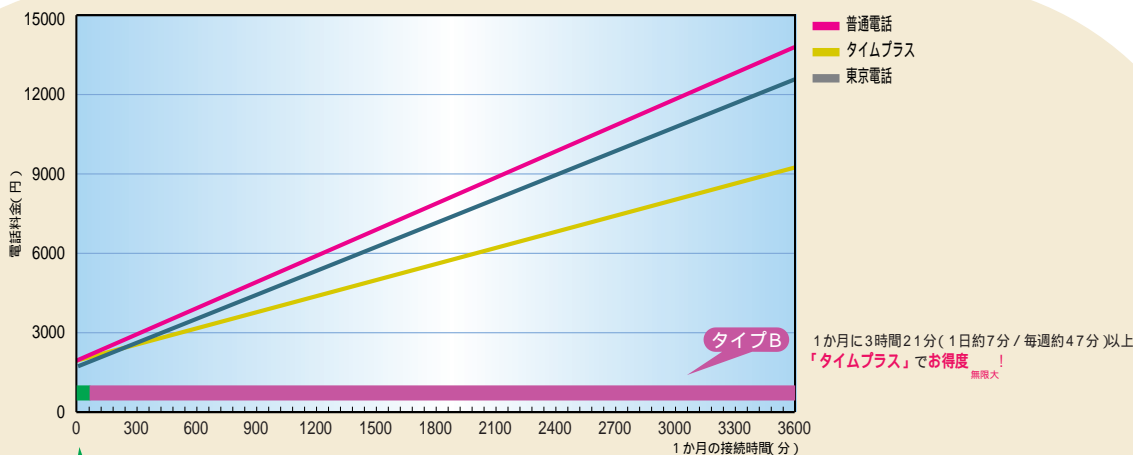
1日 分 × 30日 = 分 / 月



DAYTIME

(午前8時～午後11時)

通常料金 10円/3分



タイプA

1か月に3時間21分(1日約7分/毎週約47分)未満
「東京電話」で最大67円/月お得!

1か月の接続時間をチェック!

1日 分 × 30日 = 分 / 月

究極の電話割引サービス利用法



左ページにあるグラフを見ると、最もお得なサービスは時間帯によって異なることがわかるだろう。左のグラフに自分の接続時間をマークして、もし通常料金より安いサービスがある場合には、もっと通信費の節約ができるということだ。つまり「損をしている」状態といえるだろう。

では、次に「深夜・早朝」と「日中」を組み合わせた割引サービスプランを考えてみよう。

左ページの2つのグラフを組み合わせることで表にしたのが下の表だ。自分の「深夜・早朝」と「日中」の接続時間をそれぞれ組み合わせる場合に、割引率の高いお得なサービスの組み合わせが示してある。中でも、割引率の高いサービス「テレホーダイ」は、定額料金を払えば通話が無料になるサービスだ。この「テレホーダイ」を使う場合、プロバイダーについては定額制のところを断然おすすめだ。

日中 (午前8時～午後11時) 1か月の接続時間	タイプA 3時間21分 (1日約7分 / 毎週約47分) 未満	タイプB 3時間21分 (1日約7分 / 毎週約47分) 以上
深夜・早朝 (午後11時～午前8時) 1か月の接続時間	昼も夜も「東京電話」 最大 92円/月 お得!	夜「東京電話」+昼「タイムプラス」 夜は最大 25円 、昼は お得度!
タイプA 3時間27分 (1日約7分 / 毎週約50分) 未満	夜「タイムプラス」+昼「東京電話」 最大 1,067円/月 お得!	昼も夜も「タイムプラス」 夜は最大 1,000円 、昼は お得度!
タイプB 3時間27分 (1日約7分 / 毎週約50分) ~ 18時間34分 (1日約37分 / 毎週約4時間19分) 未満	夜「テレホーダイ1800」+昼「東京電話」 昼は最大 67円 、夜は お得度!	夜「テレホーダイ1800」+昼「タイムプラス」 夜も昼も お得度!
タイプC 18時間34分 (1日約37分 / 毎週約4時間19分) 以上		

この表は、左ページの2つのグラフをタイプごとに組み合わせたものです。そのために、日中と深夜で同じサービスを利用する場合など、定額料金の重複計算のために区切りとなる時間が異なる場合があります。



tips

組み合わせて利用できるサービス一覧表

この記事で紹介するいくつかのサービスについては、組み合わせることもできる。ここでは、サービスの組み合わせの可否の一覧表を紹介しよう。なお、98年2月末の時点でISDNについては「INSテレチョイス」と「INSテレホーダイ」の組み合わせし

か利用できない。また、TTNetの「東京電話」は、専用アダプターを使ってTTNetの通信網を利用するサービスだ。アダプターがない場合は「0081」を先頭にダイヤルすれ

ばいい。ダイヤルアップ接続において、NTTの割引サービスとTTNetとを使い分けられるならば、それぞれの電話番号の「ダイヤルアップネットワーク」をあらかじめ作成しておく

	タイムプラス	テレホーダイ	エリアプラス	テレチョイス	テレワイズ	テレジョーズ
タイムプラス			×			×
テレホーダイ						×
エリアプラス	×					×
テレチョイス					×	×
テレワイズ				×		×
テレジョーズ	×	×	×	×	×	

アナログ回線 隣接・20kmまでの区域]

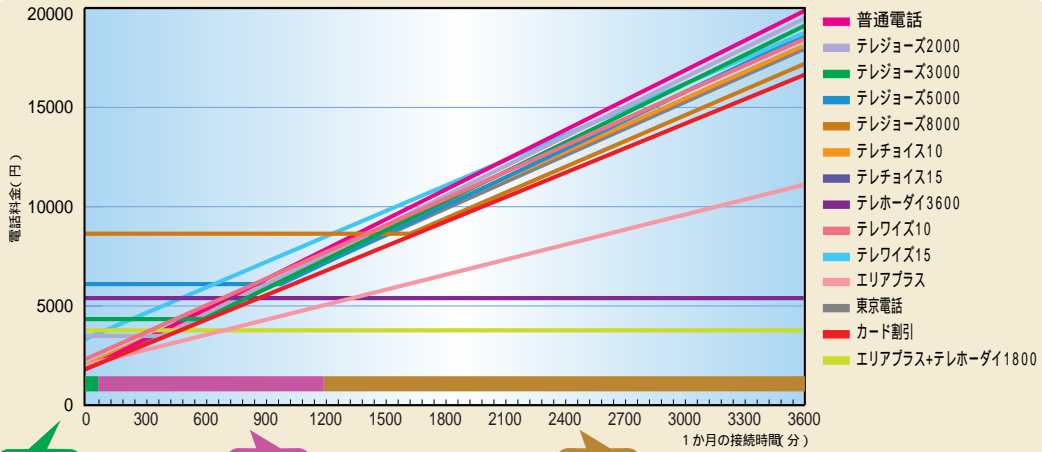
アクセスポイントが市外(隣接・20km以内)にある場合



MIDNIGHT

(午後11時～午前8時)

通常料金 10円/2分



タイプA

1か月に2時間6分
(1日約4分/毎週約29分)未済
「カード割引サービス」で
最大105円/月お得!
カード割引サービスは、他のNTTの
割引サービスとの組み合わせは不可

タイプB

1か月に2時間6分(1日約4分/毎週約29分)～
11時間56分(1日約24分/毎週約2時間47分)
「エリアプラス」で最大1,590円/月お得!

タイプC

1か月に11時間56分(1日約24分/
毎週約2時間47分)以上
「エリアプラス」+「テレホーダイ1800」で^{無制限}お得!

1か月の接続時間をチェック!

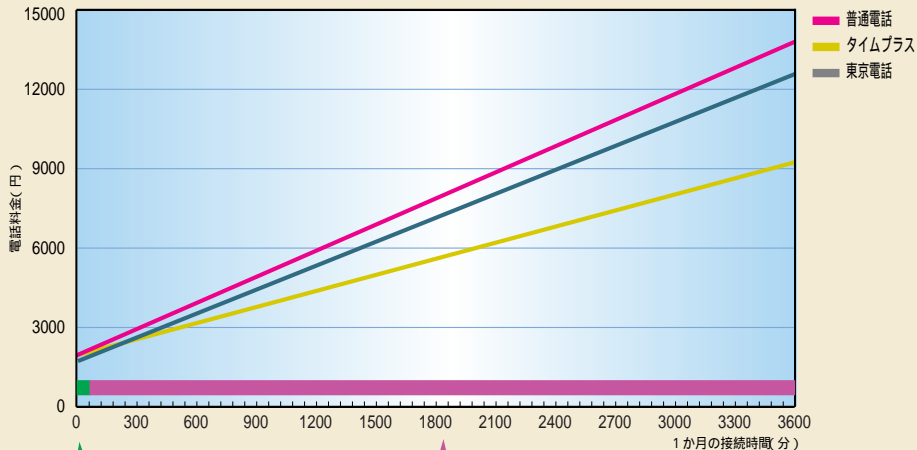
1日 分 × 30日 = 分/月



DAYTIME

(午前8時～午後11時)

通常料金 10円/90秒



タイプA

1か月に2時間15分(1日約5分/
毎週約32分)未済
「東京電話」で最大232円/月お得!

タイプB

1か月に2時間15分(1日約5分/毎週約32分)以上
「エリアプラス」で^{無制限}お得!

1か月の接続時間をチェック!

1日 分 × 30日 = 分/月

究極の電話割引サービス利用法



下の表は「深夜・早朝」と「日中」の割引サービスの組み合わせ一覧表だ。もしも「日中はまったく接続しない」あるいは「深夜・早朝はまったく使わない」という人は、下の表ではなく、左ページのグラフでお得なサービスを選択してほしい。アナログの市外（隣接・20km）通話の場合は、クレジットカード会社による市外通話割引サービス（下コラム参照）がおすすめの時間帯（左ページ上グラフのタイプA）があるが、このサービスはNTTの他のサービスと

は組み合わせられないので、日中にNTTのサービスと組み合わせることができなくなる。日中に長時間使う場合には、同じ時間帯で「カード割引サービス」に次いで割引率が高く、他のサービスとの組み合わせも可能な「エリアプラス」を中心に深夜・早朝のサービスの組み合わせを紹介する。

この表は、左ページの2つのグラフをタイプごとに組み合わせたものです。そのために、日中と深夜で同じサービスを利用する場合など、定額料金の重複計算のために区切りとなる時間が異なる場合があります。

日中（午前8時～午後11時） 1か月の接続時間	タイプA	タイプB
深夜・早朝 （午後11時～午前8時）1か月の接続時間	2時間15分（1日約5分/毎週約32分）未満	2時間15分（1日約5分/毎週約32分）以上
タイプA-1 1時間46分（1日約4分/毎週約24分）未満	夜「東京電話」+昼「カード割引サービス」 最大 337円/月 お得！	夜「東京電話」+昼「エリアプラス」 夜は最大 53円 、昼は お得度 ！
タイプA-2 1時間46分（1日約4分/毎週約24分）～ 2時間6分（1日約4分/毎週約29分）未満		夜も昼も「エリアプラス」 夜は最大 100円 、昼は お得度 ！
タイプB 2時間6分（1日約4分/毎週約29分）～ 11時間56分（1日約24分/毎週約2時間47分）未満	夜「エリアプラス」+昼「東京電話」 最大 1,822円/月 お得！	夜も昼も「エリアプラス」 夜は最大 1,590円 、昼は お得度 ！
タイプC 2時間6分（1日約4分/毎週約29分）～ 11時間56分（1日約24分/毎週約2時間47分）未満	夜「テレホーダイ1800」&「エリアプラス」 +昼「東京電話」 昼は最大 232円 、夜は お得度 ！	夜「テレホーダイ1800」+昼「エリアプラス」 夜も昼も お得度 ！

得

tips

市外通話料が16～20%ダウン！

カード会社の市外通話割引サービスとは!?

クレジットカード会社による「市外通話料金割引サービス」は、市外通話料が15%から20%程度割引になるサービスだ。これは、NTTなどの電話会社の「大口割引サービス」を使ったサービスで、カード会社がNTTなどの電話会社と大口割引契約を結び、それを会員に対してバラ売りすることで割引料金を提供するものだ。実際に割引サービスを行っているのはNTTなどの電話会社で、カード会社は、会員から料金を「まとめて」回収することになる。当然のことだが、クレジットカードを持っていなければ利用できない。割引対象は市外通話料で、割引率はセゾンカードの場合、10,000円未満が17%、30,000円未満で18%、50,000円未満で19%、100,000円未満で20%、

100,000円以上で21%の割引となる。また、NTTグループカードの場合には、3,000円未満が16%、3,000円以上が20%割引になる。なお、割引率については各社で若干異なる。

ほとんどのクレジットカードは年会費が必要で、この会費が割引額を上回ってしまうこともあるはずだ。もちろん、クレジットカードには市外通話割引サービス以外にも多くのサービスがあるので一概には言えないが、このサービスを利用するためだけにカードを作るのなら、契約料や年会費の必要ないNTTグループカードやセゾンカードがいいだろう。注意する点は、この市外通話割引サービスはNTTのどんな割引サービスとも併用できないことだ。

サービスを提供する主なカード

NTTグループカード：TEL 0120-084-789
URL <http://www.nttl.co.jp/top.html>

セゾン：TEL 03-3988-4402
URL <http://www.seison.co.jp/>

JCB：TEL 0422-76-1700
URL <http://www.jcb.co.jp/>

UC：TEL 03-5676-1301
URL <http://www.uccard.co.jp/>

住友クレジットサービス：
TEL 03-3459-8686
URL <http://www.sumitomocard.co.jp/>

ニコス：TEL 0120-030-060
URL <http://www.nicos.co.jp/>

オリコ：TEL 0492-71-3330
URL <http://www.orico.co.jp/>

ISDN [市内通信料金]

ISDNで市内にアクセスポイントがある場合



MIDNIGHT

(午後11時～午前8時)

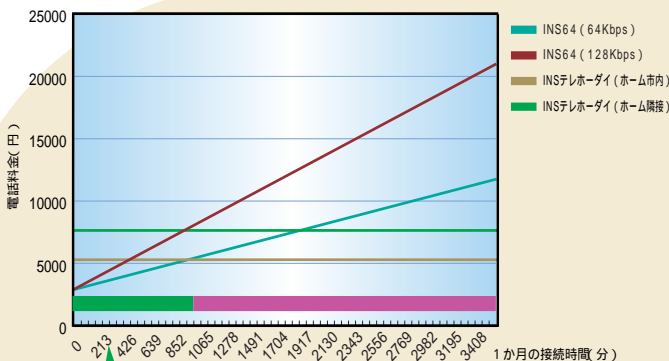
通常料金 10円/4分



DAYTIME

(午前8時～午後11時)

通常料金 10円/3分



タイプA

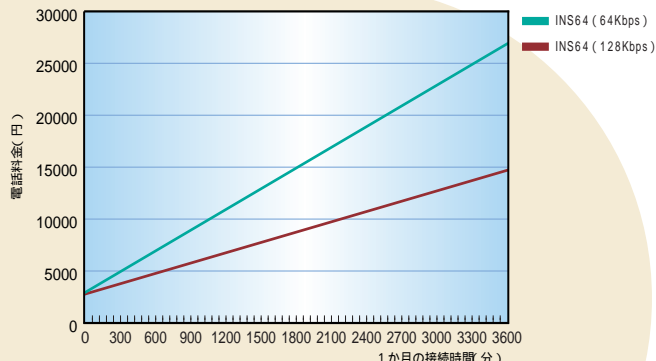
1か月に15時間56分(1日約32分/約3時間48分)未滿
なにもしない

タイプA

1か月に18時間34分(1日約37分/毎週約4時間19分)以上
「テレホーダイ1800」でお得度!

1か月の接続時間をチェック!

1日 分 × 30日 = 分 / 月



98年2月時点では、ISDNの市内通話料金割引サービスは存在しないが、98年夏にはNTTの「タイムプラス」が、秋にはTTNetの「東京電話」がそれぞれサービスを開始する予定だ

1か月の接続時間をチェック!

1日 分 × 30日 = 分 / 月

ISDN [市外(隣接・20kmまで)料金]

ISDNで市外(隣接・20kmまで)にアクセスポイントがある場合



MIDNIGHT

(午後11時～午前8時)

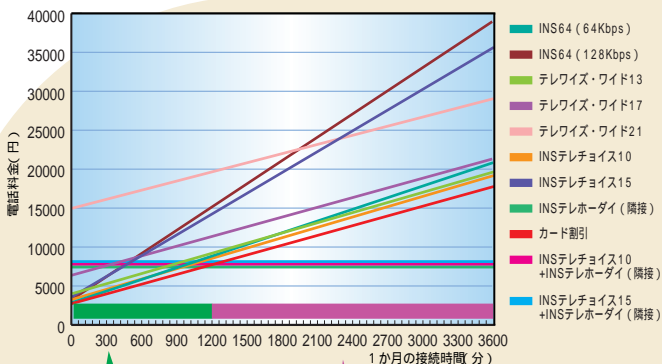
通常料金 10円/2分



DAYTIME

(午前8時～午後11時)

通常料金 10円/90秒



タイプA

1か月に19時間16分(1日約39分/毎週約4時間30分)未滿
「カード割引サービス」で最大982円/月お得!

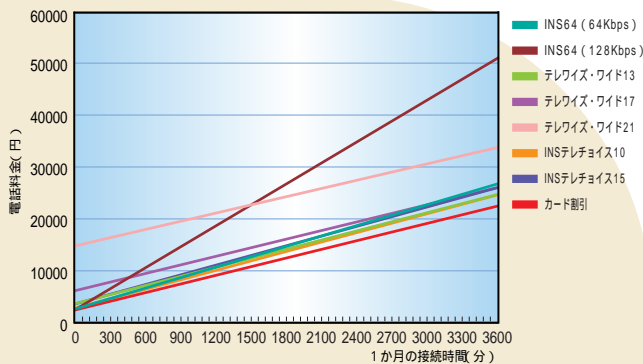
カード割引サービスは、他のNTTの割引サービスとの組み合わせは不可

タイプB

1か月に19時間16分(1日約39分/4時間30分)以上
「INSテレホーダイ(ホーム・隣接)」でお得度!

1か月の接続時間をチェック!

1日 分 × 30日 = 分 / 月



アクセス時間にかかわらず「カード割引サービス」でお得度!

カード割引サービスは、他のNTTの割引サービスとの組み合わせは不可

1か月の接続時間をチェック!

1日 分 × 30日 = 分 / 月

読めば必ず **得** をする!!

究極の電話割引サービス利用法



下の表は、「深夜・早朝」と「日中」の割引サービスの組み合わせ一覧表だ。

ISDNの場合、提供されている割引サービスが少なく、組み合わせのバリエーションも非常に少ない。そんな中でも、深夜・早朝の「INSテレホーダイ」はアナログと同様に割引率が高く、利用価値も高い。深夜・早朝に長時間利用する場合には、ぜひとも利用したいサービスだ。さらに、「タイムプラス」や「エリアプラス」

「東京電話」などの「INSテレホーダイ」と併用可能なサービスが、夏から秋にかけてISDNサービスを開始する。これらのサービスは「カード割引サービス」と併用できないので、「カード割引サービス」を申し込む場合には注意が必要だ。

この表は、左ページの2つのグラフをタイプごとに組み合わせたものです。そのために、日中と深夜で同じサービスを利用する場合など、定額料金の重複計算のために区切りとなる時間が異なる場合があります。

ISDN市内料金 ▶

深夜・早朝 (午後11時～午前8時)1か月の接続時間 日中(午前8時～午後11時) 1か月の接続時間	接続時間に関係なく
タイプA 15時間56分(1日約32分/毎週約48分)未満	なにもしない
タイプB 15時間56分(1日約32分/毎週約48分)以上	夜「INSテレホーダイ」 夜は お得度 ！

▼ISDN市外(隣接・20km)料金

深夜・早朝 (午後11時～午前8時)1か月の接続時間 日中(午前8時～午後11時) 1か月の接続時間	5時間(1日約10分/毎週約1時間10分)未満	5時間(1日約10分/毎週約1時間10分)以上
タイプA 19時間16分(1日約39分/毎週約4時間30分)未満	昼も夜も「カード割引サービス」 夜は最大 982円 、昼は お得度 ！	
タイプB 19時間16分(1日約39分/毎週約4時間30分)以上	夜「INSテレホーダイ」 夜は お得度 ！	夜「INSテレホーダイ」 +昼「INSテレチョイス」(ホーム・隣接) 夜も昼も お得度 ！

得

tips 市外にある
アクセスポイントを
市内料金で!

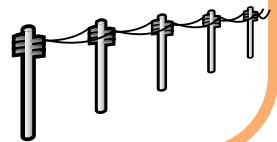
「エリアプラス」は隣接・20kmまでの通話料金が市内通話料金(日中3分10円、早朝深夜4分10円)になる便利なサービスだ。市内にアクセスポイントがないために、市外のアクセスポイントを利用している人は、このサービスを利用すれば市外にあるアクセスポイントを市内通話料金で利用できる。さらに便利なことに「エリアプラス」は「テレホーダイ1800」と組み合わせて利用でき、この組み合わせは「テレホーダイ3600」より安上がりになる。

得

tips ISDNで
アナログ向けのサービスは
使えないの!?

現在のISDNは、アナログに比べて利用できる割引サービスの選択肢が少ない。ここでは、現在アナログだけに提供されている割引サービスのISDNサービス開始時期を紹介する。

東京電話...98年秋以降(予定)
 タイムプラス...98年夏(予定)
 エリアプラス...98年夏(予定)
 98年2月現在



この記事で **得** サービスをさがして
余裕のインターネットライフを楽しもう!



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp